

# 文化

## 沈黙に向き合う 沖繩戦聞き取り47年

〈49〉

石原 昌家

前回、慶良間の集団死事件(新聞紙面では「集団自決」と表現されている)について、「軍命」の有無が新聞で大きく取り上げられていたことを紹介した。私は、住民の凄惨な集団死が発生したそのとき、軍が「命令」を下したのか否か、一つひとつの事例において特定しようと調査したことはない。

1991年10月21日、東京高裁における証人尋問においては、およそ2時間の証言時間しか与えられていない。私はブックレット程度の分量の「意見書」を準備し、それに基づいて応答してきた。本連載執筆に当たり、28年ぶりに裁判所に提出した「意見書」(平成元年(ネ)第三四一八号損害賠償請求控訴事件)(写真参照)を再読した。確認できたことは、今日にいたるまで、各地で講演したり、

は自信を持って言い切ったことで、大変話題になっている。つまり、そのような姿勢で第二審の証人尋問に臨んでいたのだ。では、何をもちて確証としたのか、ということである。

「極秘」の軍事機密 70年代半ば頃、先賢研究者が秘密戦二関スル書類の中身のひとつつが

### 第一審証言の根幹

## 「軍命」発したも同然 軍と共に「死ぬこと」前提

「信用できない」という住民と「同居」し、陣地構築にも駆り出したので、敵に知られてはいけない最高の軍事機密を、兵士同様に住民も知ってしまった。それで、敵に捕まる前に兵士同様住民も死ぬよう仕向けていたということになる。

証言の中で最重視されたというキヤプションが付き、既に本稿の要諦を予告していた。地上戦突入4カ

「軍命」有無の問題については事件発生時、「軍が『玉碎命令』を出したか否か、住民はその命令を受け、住民はその命令を受け、たか否かは問題ではない」「意見書」89頁)と、私

という米軍が沖繩戦中に押収した日本軍の極秘軍事機密の史料を入手したとい

沖繩戦の実態解明に最重要な史料だが、なかでも昭和十九年十一月十八日に「球六一六部隊」(第32軍首軍司令部の)に「極秘」の文字が押印された「報道宣傳防諜等二関スル縣民指導要綱」は、このうえない重要史料である。那覇市がほほ灰燼に帰した米軍の「十・十空襲」から1カ月後、地上戦に突入した時、沖繩住民にいか

なる運命が待ち受けているのが、明示されていたのだから、明かされていたのだから、この史料コピーは、連載第45回(7/19)の写真でも眺めるようにしてあり、第二審の私の証言において「住民に集団死を強制した証拠として、石原昌家氏の証言の中で最重視された」というキヤプションが付き、既に本稿の要諦を予告していた。地上戦突入4カ

通高級参謀の手記だった。45年5月5日、牛島満軍司令官が「余が命をうけて、東京を出発するに当たり、陸軍大臣、参謀総長は陸軍に玉碎してはならぬと申された。軍の主力は消耗してしまつたが、なお残存する兵力と足腰の立つ島民とをもち、最後の一人まで、そして沖繩の島の南の涯、尺寸の土地の存する限り、戦いを続ける覚悟である」(八原博通「沖繩決戦」高

「共死」の内実 第一審で原告家永氏側の安仁屋証人が軍の命令、誘導などによる「住民の集団的な死」という証言に対し、国側は住民が「死んで国を守ろうとした崇高な犠牲的精神の発露」とか「自らの選択の道が全くなくて、軍の命令だから死んだ」というのは大変に失礼だ、という主張も争点になったが、判決では家永氏敗訴となつた。

私はそれにはどう反論している。牛島司令官はその言葉通りに島の南端摩文仁まで住民を道連れにしたが、「足腰の立つ島民とをもち」というのは、まさに「軍官民共生死ノ一体化」を發令した軍司令官が、激戦中にもそれを再確認していたということである。つまり、非戦闘員の住民も、戦場では軍と共に死ぬことが前提にされていたというの、高級参謀の手記でも明らかといえよう。私の法廷での証言は、すべて、日本軍関係史料や住民の証言に基づいたものであつた。

教科書裁判 第三次新証人尋問の証言「意見書」

沖繩戦における日本軍と住民犠牲

著者 石原 昌家

第三次家永教科書裁判の控訴審で証人の石原昌家氏が提出した意見書

「高級参謀」の手記 私、家永氏の証人として、文部大臣(代理人)と裁判長にまずはっきりと伝えておきたかったのは第一審に基づいたものであつた。

私はそれにはどう反論している。牛島司令官はその言葉通りに島の南端摩文仁まで住民を道連れにしたが、「足腰の立つ島民とをもち」というのは、まさに「軍官民共生死ノ一体化」を發令した軍司令官が、激戦中にもそれを再確認していたということである。つまり、非戦闘員の住民も、戦場では軍と共に死ぬことが前提にされていたというの、高級参謀の手記でも明らかといえよう。私の法廷での証言は、すべて、日本軍関係史料や住民の証言に基づいたものであつた。

(今回は10月後半掲載)